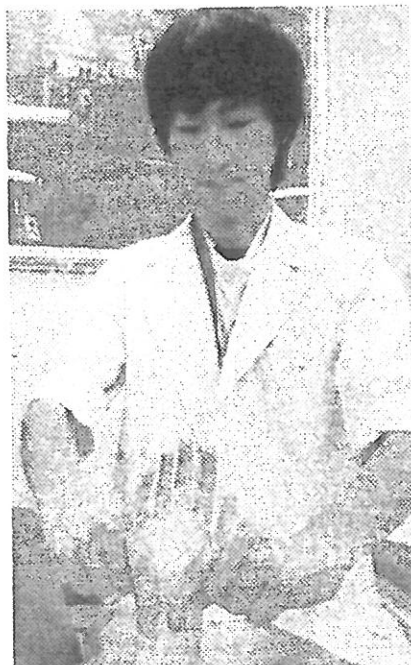


札幌医科大学
附属札幌
病院
整形外科
十勝
支院
現職
募集



HETで手根管 症候群症状改善

整科 篠路整形
外科



Grade II以下なら手術と同等の効果が
得られたという

北区の篠路整形外科は、手根管症候群に横手根靭帯をストレッチする
(池本吉一理事長・無床)

聴の治療に力を入れる新谷院長のもと、STが新生児から成人までの聴力検査や言語検査、発達検査とともに、言語指導、構音指導、人工内耳マッピング等に対応。補聴器外来では問診、効果測定、装着状況の確認を担う。幼少時から補聴器や人工内耳を付けている難聴児の中には、小学校低学年頃は明らかではないが、高学年になるほど語

道内に難聴治療の専門施設が少ない中、同クリニックは平日の通常診療時間帯のほか、土曜日午前に訓練枠を設け、患者の通いやすさにも配慮している。新谷院長は「難聴が疑われる事例に対し、様子を見ましよう」と先送りする対応は良くない。心配な時点で早期に専門施設で検査を受けさせてほしい」と呼びかけている。

同整形外科では、二十年から金子翔拓りハビリテーション科科長が中心となつて導入。主に浜田分類Grade II以下の症例五十例に施行し、効果がみられず手術に至つたのは二例のみ。再発も二例と、手術治療と同等の効果をj得ている。国内では導入施設が少ないこともあつて、効果についての検証報告がない状態だ。そこで、十七

例を対象に、一回二十分を週三回行い、六週後のしびれ感、Q-DASH H、ピンチ・握力、浜田分類の変化をj検討した。しびれVASは平均六・七チシが平均二・九チシに減少し、十二例が改善。ピンチ力健側比は、平均七〇・八%が八五・七%、握力は八二・三%が九二・八%へとアップした。Q-DASHは三八・五点が一三・二点へと改善。浜田分類では、Grade IIの四手のうち一手が正常に、二手がGrade Iに、Grade I十二手にうち五手が正常へと評価が好転した。HETによって有鉤骨レベルの横断面積が六%増加することが、すでに海外で報告されており、手術治療と同様に狭小化した手根管断面積が増大し、正中神経への圧迫力の軽減、神経内血流量の改善をもたらしていることが考えられるという。今後は、神経圧迫、粘弾性の悪化など、神経障害別の検討や、横断面積増大に伴う血流量、圧迫力の変化を検証していきたいとしている。

① 募集科目/診療科目不問
内容/イベント数護

勤務地/札幌市豊平区
待遇/時給 7,000円